

私立大学図書館協会 2017年度西地区部会第1回役員会議事要録

1. 日時：2017年6月15日（木）15：30～17：08
2. 場所：ホテル日航奈良 5階「百合」
3. 出席：10校18名

（敬称略）

役員名称	大学名	職名	氏名
監事校	福岡大学	図書部事務部長	井口 紀子
前監事校	立命館大学	図書館学術情報課長	谷口 心也
東海地区理事校	愛知大学	名古屋図書館事務課長	中村 直美
		豊橋図書館事務課長	島田 美津穂
京都地区理事校	天理大学	事務長	神崎 順一
		司書	佐上 圭太
阪神地区理事校	神戸女子大学	図書館長	山内 晋次
		課長	津山 充代
中国・四国地区理事校	広島修道大学	図書館長	坂根 嘉弘
		図書課長	板本 明子
九州地区理事校	九州国際大学	事務室長	増田 恵次郎
		課長補佐	宮崎 昭
総会当番校	帝塚山大学	図書課長	屋山 俊幸
研究会当番校	西南学院大学	図書館事務部長	大羽 康二
		図書情報課長	吉田 進
部会長校	大阪工業大学	図書館長	益山 新樹
		事務室長	佐伯 慶子
		係長	梶 義宏

議事に先立ち、部会長校 大阪工業大学図書館長 益山 新樹から挨拶があり、引き続き、出席者全員が自己紹介を行った。議長として、大阪工業大学図書館長 益山 新樹が選出された。

議事

I. 報告事項

1. 2016年度西地区部会会務報告

前年度西地区部会長校 福岡大学（井口）より、2月までの会務報告は第3回役員会で報告済みなので主な行事、会議に絞って、配付資料（p.3~6）に基づき報告があった。

2. 2016年度各地区協議会会務報告及び各地区研究会報告

東海地区：東海地区理事校 愛知大学（中村）より、配付資料（p.7~11）に基づき、報告があった。また、これに加え「資料には掲載していないが、2016年9月1日、2日に『実務担当者研修会』を名古屋女子大で開催し、28校から62名の参加があった」旨、併せて追加報告があった。

京都地区：京都地区理事校 天理大学（神崎）より、配付資料（p.11~14）に基づき、報告があった。

阪神地区：阪神地区理事校 神戸女子大学（津山）より、配付資料（p.15~19）に基づき、報告があった。

中国・四国地区：中国・四国地区理事校 広島修道大学（坂根）より、配付資料（p.19~21）に基づき、報告があった。

九州地区：九州地区理事校 九州国際大学（増田）より、配付資料（p.21~24）に基づき、報告があった。

3. 2016年度 協会関係報告

前年度西地区部会長校 福岡大学（井口）より、配付資料（p.25~44）に基づき、報告があった。

4. 2017年度協会役員校、委員会および協会関連団体等委員

前年度西地区部会長校 福岡大学（井口）より、配付資料（p.45~47）に基づき報告があった。

（3）協会関連団体1）⑨⑩については、2017年3月31日付けにて活動停止して
る追加報告があった。

5. その他

なし

II. 協議事項

1. 2016年度西地区部会決算（案）及び監査報告について

前年度西地区部会長校 福岡大学（井口）より、配付資料（p.48~50）に基づき説明があり、引き続き、前監事校 立命館大学（谷口）より、監査報告があり、承認された。

2. 2017年度西地区部会事業計画（案）について

西地区部会長校 大阪工業大学（佐伯）より、配付資料（p.51）に基づき説明があり、原案通り承認された。その中で、館長懇話会は前年同様に役員会の意見交換会と同時に開催するとの報告があった。

引き続き、2017年度西地区部会総会の詳細について、総会当番校の帝塚山大学（屋山）から説明があった。その後2017年度西地区部会研究会の開催概要（案）について、研究会当番校の西南学院大学（吉田）より、配付資料（p.51）に基づき、今回は、メインテーマを「今改めて図書館の防災を考える」として開催するとの説明があり、原案どおり承認された。

3. 2017年度西地区部会予算（案）について

西地区部会長校 大阪工業大学（佐伯）より、配付資料（p.52）に基づき、つぎのような説明があった。

収入の部で、部会交付金は2017年度加盟予定校数258校で計上している。雑収入は預金利息を計上。前年度繰越金は2016年度決算の次年度繰越金分を計上している。

支出の部では、例年どおり必要な項目を設け、それぞれ適切な金額を算出して計上している。地区協議会交付金では5地区に各8万円で計上。地区研究会交付金は2017年度加盟予定校数258校で計上している。詳しい算出方法は配付資料注1のとおりである。地区研究会幹事交付金は5地区に各7万円で計上している。予備費の内訳は配付資料注2のとおりである。

以上の説明により原案どおり承認された。

4. その他

(1) 西地区部会総会と研究会の合同（同日）開催について

西地区部会長校 大阪工業大学（益山）より、西地区部会総会と研究会の合同（同日）開催について提案があり、大阪工業大学（佐伯）から資料に基づき詳細説明があった。協議の結果、今回は大枠合意、細部については今後詰めていくということで、原案どおり承認された。

協議の過程であった質疑応答はつぎのとおりである。

問：2019年度から実施することには賛成だが、2019年度以降の総会当番校、研究会当番校とは調整済みか。(愛知大学 中村)

答：(この案は昨年度、常任幹事会、役員会で提案し賛同をいただいたものであるが) 提案の前提として、事前に理事校を通じて各地区の加盟館からご意見をいただいております。その過程で、2019年度の総会当番校、研究会当番校には内々に打診し、内諾を得ています。2020年度以降の当番校にはアクションをおこしていませんが、2019年度で実績を作れば、良い方向に行くのではないかと。総会・研究会同日開催案については、各地区協議会を通じて加盟館に伝わっているはずなので、当番予定校においてもそれなりの心積りはお持ちではないでしょうか。(前西地区部会長校 福岡大学 井口)

問：阪神地区と京都地区のような地理的に近接しているところはいいが、九州のように地理的に離れている場合どうだろうと思った。また、今後、総会当番校と研究会当番校を1校にするというお考えはあるか？(愛知大学 中村)

答：当番校の負担軽減ということを考えての案なので、総会当番校と研究会当番校を1校にするということは、理想ではあるが、現時点では考えていません。総会と研究会の業務を1校が受け持つとなれば、むしろ当番校の負担増になり兼ねない。開催日・開催場所を統一する、しかし実施における役割分担は従来通りとし、総会、研究会の当番校がそれぞれの役割を担う、また交付金の会計管理・会計処理もそれぞれで行う、というのが今回の提案である。

地理的に離れている場合の同時開催という点であるが、2022年度の総会当番校が京都地区、研究会当番校が沖縄というケースがおそらく一番離れているケースになるだろう。前日行われる役員会と総会への出席が求められる研究会当番校関係者(館長、事務責任者)の他に、受付など、会場での業務要員として1、2人出向することになると仮定し、この出向者の交通費の手立てを考えた。沖縄と関西の交通費(飛行機代)が最も高額であるが、それは予算(研究会交付金30万円)の範囲内で助成できるとシミュレーションしている。

また、現在、総会は2,500円、研究会は2,000円の参加費を徴収しているが、同日開催によって、午後からの開催となる研究会は参加費を取る必要はない。また、総会においては昼食代(弁当)実費分(1,500円程度)の金額設定でよいと考えている。総会の参加費のみで総会、研究会に参加できることから、加盟館にとっては費用負担の軽減となる。(前部会長校 福岡大学 井口)

(2) 九州国際大学(増田)より、昨年度からの懸案事項となっている九州地区における役員校就任辞退問題への対処について、次のような検討状況の報告があった。

本件は4月19日開催の九州地区協議会総会において定例幹事会に一任された。6月2日に行われた定例幹事会では、事前に行われた加盟校53校へのアンケート調査の結果等に基づき、つぎのような提案が行われ、審議の結果、承認された。

① ローテーション表(日本図書館協会資料から大学別に規模等を一部抜粋し、優先順位で並べている)でA枠・B枠(上位11番まで固定していた。)という固定枠を外す。

② 九州地区理事校、会長校、部会長校は複数校で担当する。

今後、これらの結論に基づき役員校候補選定に当たる。会則等必要な規定改正についてはこれから考える。

この他、九州地区においても外部委託が急速に進んでいる状況があり、今後、協会の役員校業務についても外部委託化を検討することが必要である。

Ⅲ 承合事項

なし

Ⅳ 確認事項

1. 2017・2018年度西地区部会役員校について

西地区部会長校 大阪工業大学(佐伯)より、配付資料(p.53)に基づき説明があり、確認された。

2. 1. 2017・2018年度西地区部会当番校について

西地区部会長校 大阪工業大学(佐伯)より、配付資料(p.54)に基づき説明があり、確認された。

3. 2017年度西地区部会関連行事日程について

西地区部会長校 大阪工業大学(佐伯)より、配付資料(p.54)に基づき説明があり、確認された。

4. その他

なし

Ⅴ その他

なし

以 上